



読書週間が始まりました！

今週から読書週間が始まりました（11月7日まで）。子どもたちは、本を読んでいるでしょうか。学校では、原則月・金曜日の朝に読書の時間を設けて、本に親しむことができるようにしています。子どもたちは、落ち着いて一日のスタートを切ることができています。

各教科等の授業の中であすなる図書館を活用したり、国語科の単元の中で読書のよさを学んだりしています。図書委員会がイベントを企画して、読書推進活動も行っています。さらに、潮見音読隊の協力により読み聞かせ活動も充実しています。

読書によって期待できる効果は、右のようなものがあると思います。ただし、効果を期待して読書をしている子どもはそれほど多くはありません。本が好き、読んで楽しい、書かれている内容に興味がある、何かを調べたい、そういった理由で、読書をしているのだと思います。

どんな本を読んだらよいか、分からないという場合には、右のようなことが参考になるかもしれません。本に関する情報はたくさんあり、最近では本を紹介している番組や動画もあります。電子書籍もあります。朗読をしてくれるサービスもあります。子どもたちには、まずは、どんなものでもよいので「本を読んでみる」ことを伝えています。ご家庭でも子どもたちと一緒に本に親しむ時間をつくってみてはいかがでしょうか。同じ本を読んで、感想を家庭内で共有するのもよいと思います。



【読書で期待される効果】

- 語彙が豊かになる。
- 文章を読み取る力がつく。
- 作文などの表現力につながる。
- 思考力や想像力が育つ。
- 集中力が身に付く。
- 気持ちが落ち着く。
- 相手の気持ちを考える力がつく。
- 教養が身に付く。



【本の選び方の例】

- 国語科で学習した作家、著者の本
- 名作と言われる本
- 何度も版を重ねた本（いわゆる人気の本）
- 郷土にゆかりのある本（愛媛県出身の作家や愛媛が舞台となっている作品）
- 興味のある偉人の本
- 何かの賞を受けた本
- 歴史や自然科学に関する本、
- マスコミやネットなどで紹介されている本
- アニメ化、映画化、ドラマ化された本



地域とのつながいを生かして4

5年生の家庭科では、エプロンづくりをしています。その際ミシンを使うのですが、子どもたちにとってはなかなかハードルの高い活動です。そこで、潮見コーラス隊をはじめ、地域の有志の方々が、「ミシン隊」となって5年生のためにミシンの使い方やエプロンの縫い方の支援をしてくださっています。そのおかげで、子どもたちはエプロンの製作をスムーズに行っています。今後も、地域の皆様の力をお借りしながら、よりよい教育活動を進めていきたいと思っています。地域の皆様、ありがとうございました。

